

2020年3月期 会社説明資料

2020年5月26日



北陸銀行



北海道銀行

目次

・はじめに（プロフィール）		1	
【Ⅰ. 2020年3月期決算概要】			【Ⅱ. 経営戦略】
・損益概要		3	・中期経営計画「ALL for the Region」 13
・資金利益		5	・法人戦略 14
・円貨預貸金利回り推移		6	・個人戦略 16
・有価証券		7	・デジタル・Fintech 18
・役務取引等利益		8	・地域社会活性化 19
・経費		9	～ESG/SDGsへの取組み～
・金融再生法開示債権・与信費用		10	・業務効率化 22
・自己資本比率・ROE		11	・グループ総合力の発揮 23
・業績予想		12	【別冊】参考資料



ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言 (2019.4.1)

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえたCSR活動に積極的に取り組むことにより、地域経済、地域社会の Sustainability（持続可能性）の向上を目指してまいります。

はじめに

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融機関グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。



取締役社長 庵 栄伸
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長 笹原 晶博
(北海道銀行 頭取)

経営理念

- 地域共栄** : 社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。
- 公正堅実** : 公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。
- 進取創造** : 創造と革新を追及し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

プロフィール (2020年3月末現在)



設立 : 2003年
本店所在地 : 富山市
資本金 : 708億円
自己資本比率 : 8.94%
格付 : A (R&I)



設立 : 1943年
(創業1877年)
本店所在地 : 富山市

店舗数 : 国内188(支店145・出張所43)
海外6

従業員数 : 2,524人

(在籍ベース)

資本金 : 1,404億円

自己資本比率 : 8.59%

格付 : A (R&I) ・ A- (S&P)



設立 : 1951年

本店所在地 : 札幌市

店舗数 : 国内144(本支店136・出張所8)
海外3

従業員数 : 2,242人

(在籍ベース)

資本金 : 935億円

自己資本比率 : 8.76%

格付 : A (R&I)



I . 2020年3月期 決算概要

損益概要(連結・2行合算)

・コア業務純益は業績予想を8億円上回る378億円、与信費用が74億円増加したものの、国債等債券損益の増加等で一部カバーし、連結当期純利益は業績予想を7億円上回る202億円となりました。

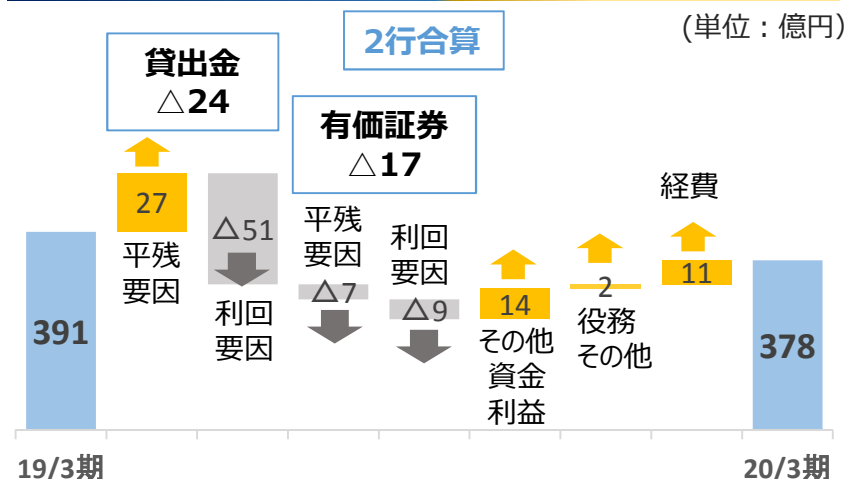
2020/3期 損益

【億円】				
【ほくほくFG連結】	業績 予想	実績	前期比	業績 予想比
経常利益	315	316	△ 36	1
親会社株主に帰属する当期純利益	195	202	△ 41	7

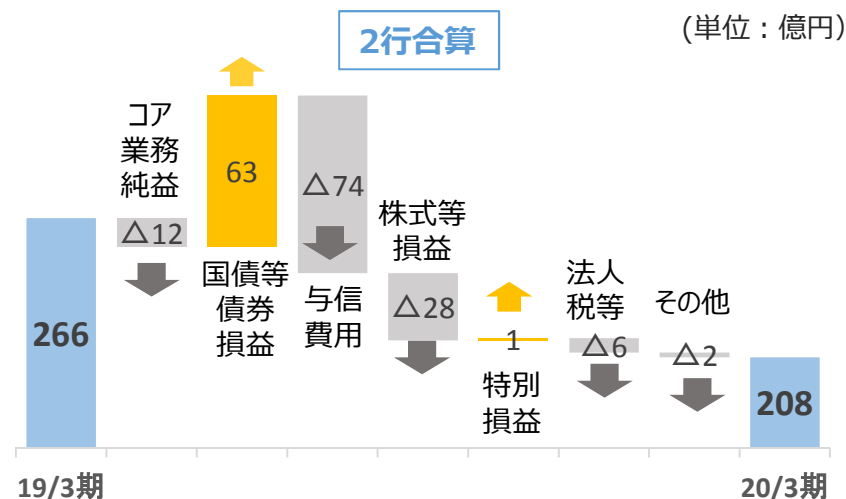
【2行合算】	業績 予想	実績	前期比	業績 予想比
コア業務粗利益	1,240	1,232	△ 24	△ 8
資金利益		1,054	△ 27	
うち貸出金利息		842	△ 24	
うち有価証券利息		232	△ 17	
役務取引等利益		165	△ 0	
特定取引利益		1	0	
その他業務利益(国債等債券損益を除く)		11	1	
経費(△) (臨時処理分を除く)	870	853	△ 11	△ 16
コア業務純益	370	378	△ 12	8
(投資信託解約損益を除く)		345	△ 24	
国債等債券損益		84	63	
実質業務純益(※)		463	50	
一般貸倒引当金繰入(△)		28	28	
臨時損益		△ 120	△ 74	
うち不良債権処理額(△)		92	45	
うち株式等損益		△ 18	△ 28	
経常利益	330	314	△ 52	△ 15
特別損益		△ 10	1	
法人税等(△)		95	6	
当期純利益	220	208	△ 57	△ 11
(参考)与信費用(△)	85	120	74	35

※実質業務純益…「業務純益(一般貸倒引当金繰入前)」と同義

コア業務純益 増減要因



当期純利益 増減要因



損益概要(北陸銀行・北海道銀行)

2020/3期 損益

(億円)

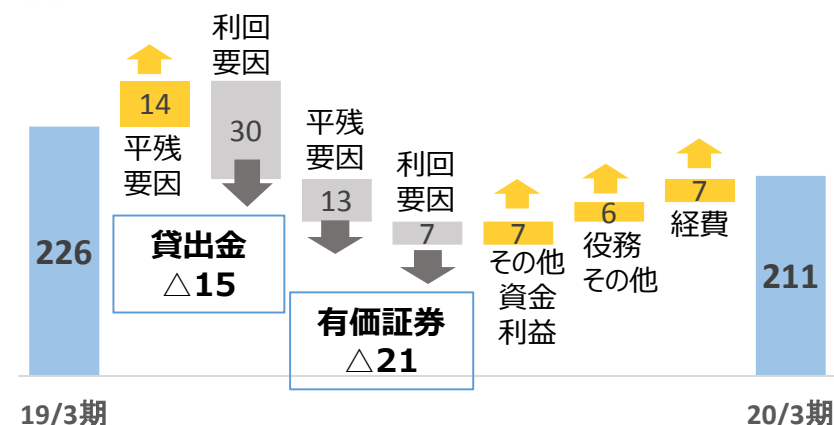
	北陸	前期比	北海道	前期比
コア業務粗利益	668	△ 22	563	△ 1
資金利益	552	△ 29	501	1
うち貸出金利息	428	△ 15	413	△ 8
うち有価証券利息	142	△ 21	90	4
役務取引等利益	105	6	59	△ 6
特定取引利益	1	0	-	-
その他業務利益(国債等債券損益を除く)	8	△ 0	2	2
経費(△)(臨時処理分を除く)	457	△ 7	396	△ 4
人件費	226	△ 9	178	△ 4
物件費	197	1	187	△ 0
税金	33	0	30	1
コア業務純益	211	△ 15	167	2
(投資信託解約損益を除く)	199	△ 12	146	△ 12
国債等債券損益	48	31	36	32
実質業務純益(※)	259	15	203	35
一般貸倒引当金繰入(△)	21	27	6	1
臨時損益	△ 60	△ 32	△ 59	△ 42
うち不良債権処理額(△)	71	37	21	8
うち株式等損益	1	△ 2	△ 20	△ 26
経常利益	177	△ 44	137	△ 7
特別損益	△ 8	1	△ 1	△ 0
法人税等(△)	55	0	39	5
当期純利益	112	△ 43	95	△ 14
(参考)与信費用(△)	92	64	27	10

※実質業務純益…「業務純益(一般貸倒引当金繰入前)」と同義

コア業務純益 増減要因

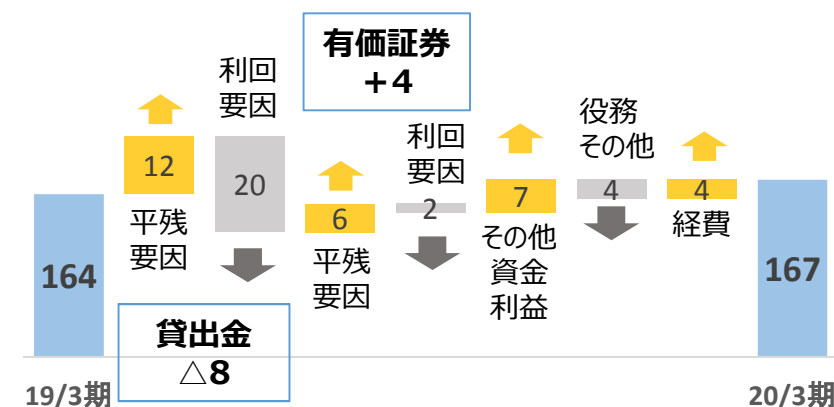
北陸銀行

(単位: 億円)



北海道銀行

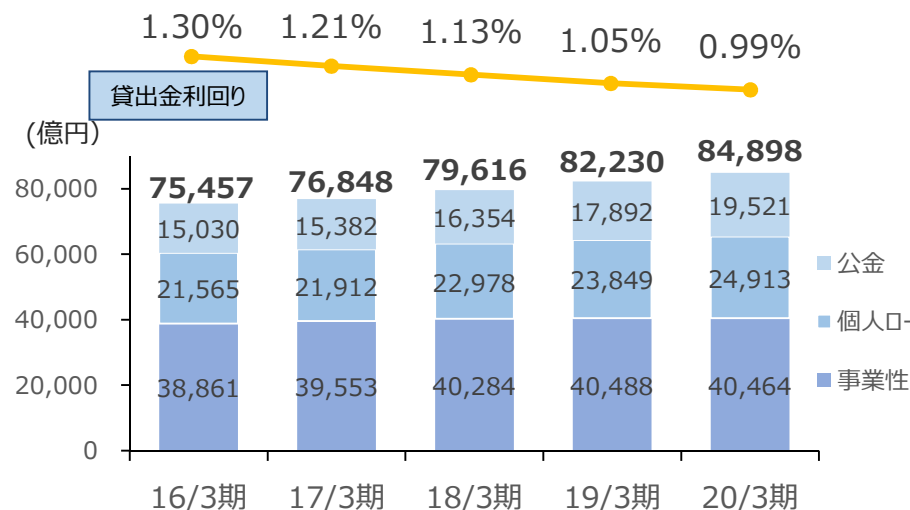
(単位: 億円)



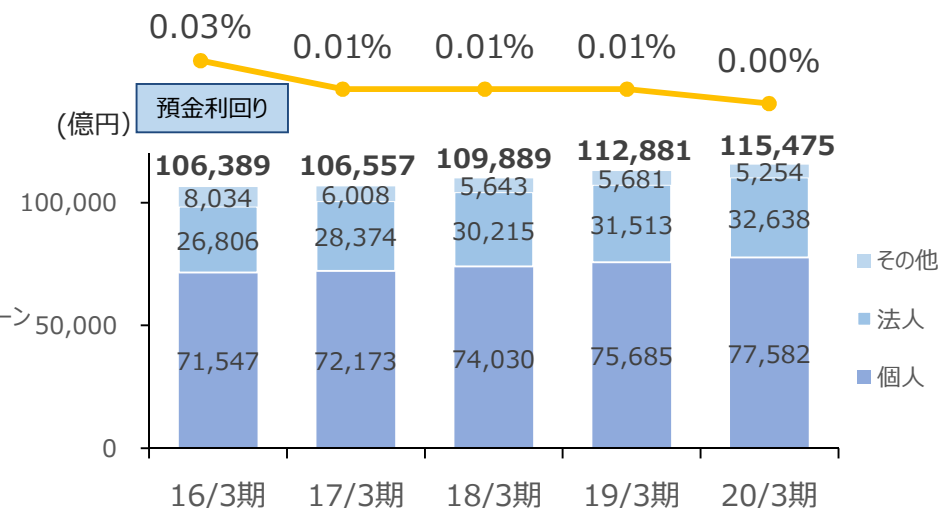
資金利益

・2行合算の資金利益は、前期比27億円減少の1,054億円となりました。

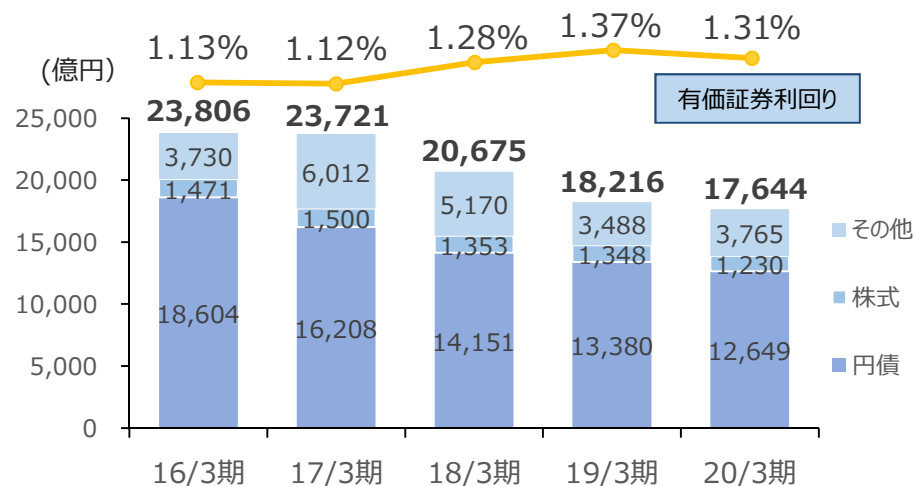
貸出金平残・利回り推移



預金平残・利回り推移



有価証券平残・利回り推移



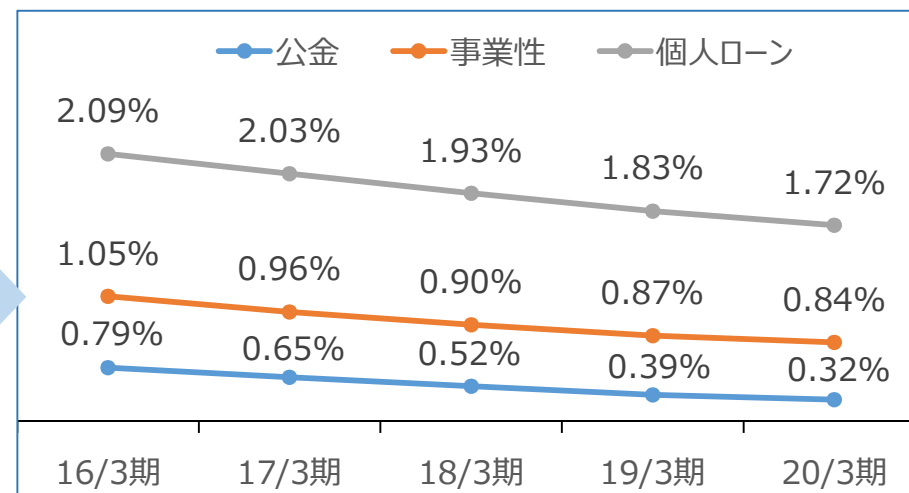
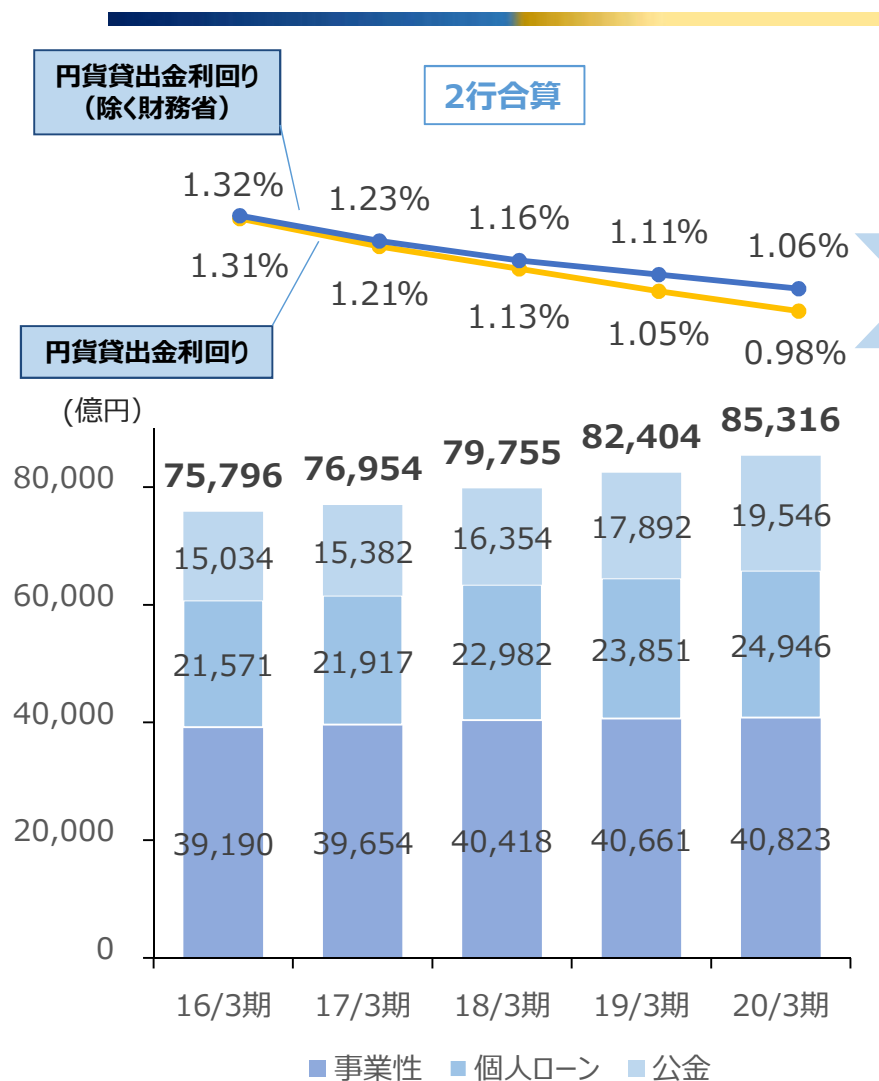
資金利益

20/3期	2行合算	前期比	北陸	前期比	北海道	前期比
資金利益	1,054	△ 27	552	△ 29	501	1
うち貸出金利息	842	△ 24	428	△ 15	413	△ 8
貸出金平残	84,898	2,668	48,106	1,620	36,792	1,047
利回り	0.99%	△0.06%	0.89%	△0.06%	1.12%	△0.06%
うち預金利息 (△)	10	△ 2	7	△ 1	3	△ 0
預金平残	115,475	2,594	66,515	1,349	48,960	1,245
利回り	0.00%	△0.01%	0.01%	0.00%	0.00%	0.00%
うち有価証券利息	232	△ 17	142	△ 21	90	4
有価証券平残	17,644	△ 571	11,007	△ 1,037	6,637	465
利回り	1.31%	△0.06%	1.29%	△0.07%	1.35%	△0.04%

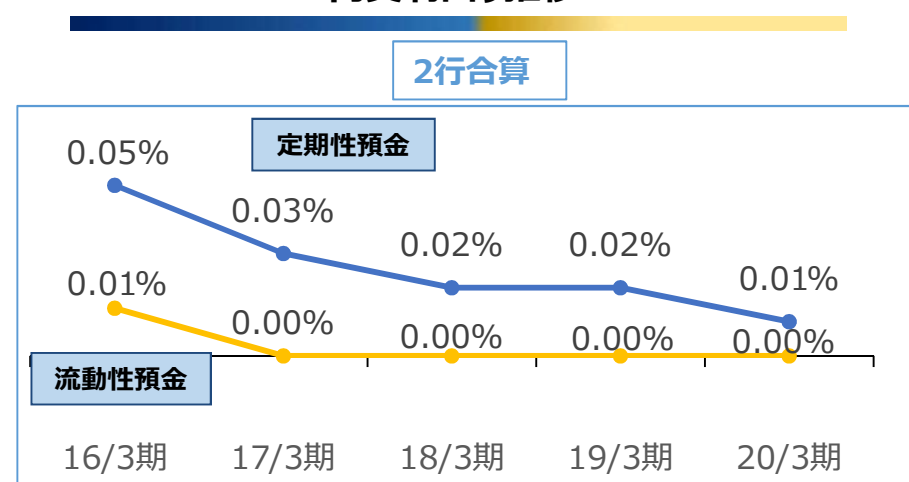
円貨預貸金 利回り推移 (内部管理ベース)

・事業性貸出金利回りの低下幅は徐々に縮小しつつあります。

円貨貸出金平残・利回り推移 (内部管理ベース)



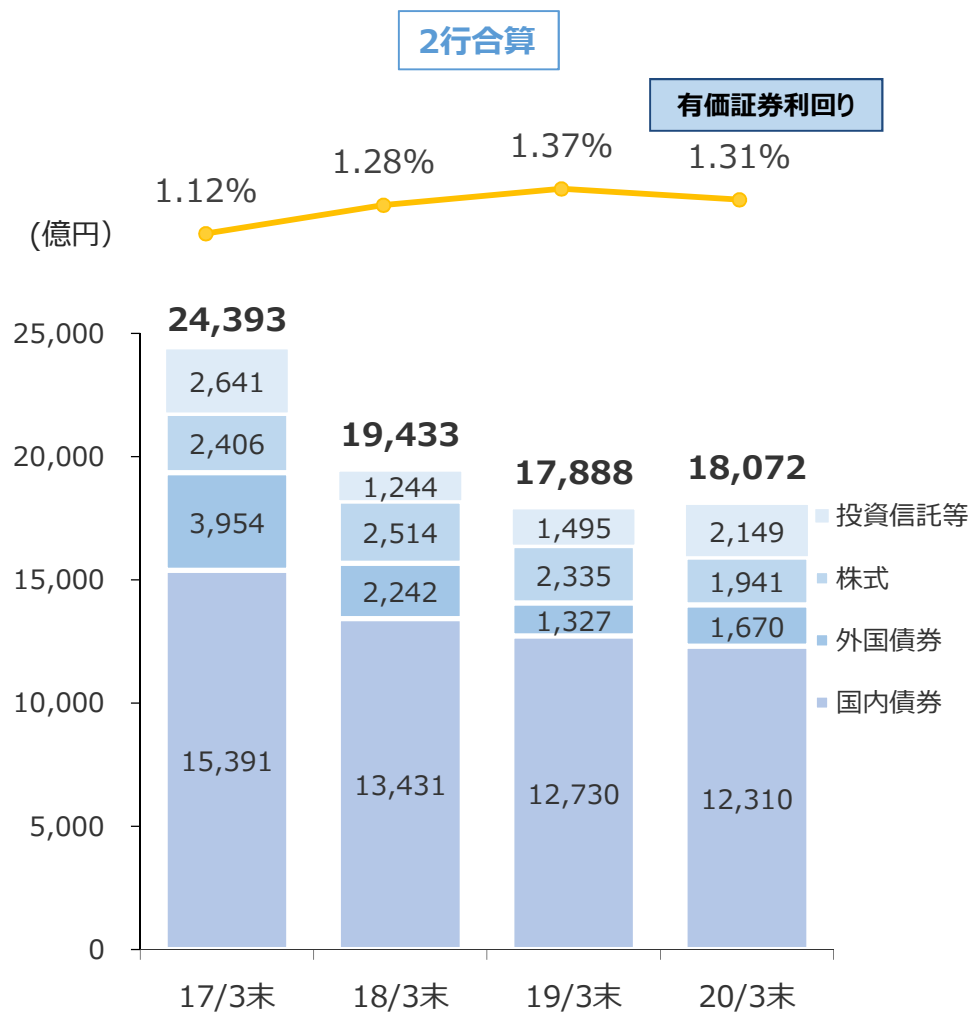
円貨利回り推移



有価証券

・有価証券残高は、国債の償還資金を地方債・投資信託等に再投資し、前期比183億円増加の1兆8,072億円となりました。その他有価証券の評価損益は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による株式市場の下落等により、前期比492億円減少の767億円となりました。

有価証券残高（末残）



有価証券損益・評価損益

2行合算 (億円)

	20/3期	増減額	19/3期
有価証券利息	232	△ 17	249
円債	79	△ 15	94
株式	51	△ 7	59
その他	101	5	95
有価証券の売買損益	66	34	31
国債等債券損益	84	63	21
株式等損益	△ 18	△ 28	10
その他有価証券の評価損益	767	△ 492	1,260
債券	67	△ 81	149
株式	748	△ 308	1,056
その他	△ 48	△ 102	54

円債デュレーション

2行合算

17/3末	18/3末	19/3末	20/3末
3.14年	3.08年	3.08年	4.46年

※ヘッジ考慮後

役務取引等利益

・役務取引等利益は、保険販売手数料の減少やローン保証料の増加を、法人ソリューション関連手数料の増加等でカバーし、前期と概ね同水準の165億円の実績となりました。

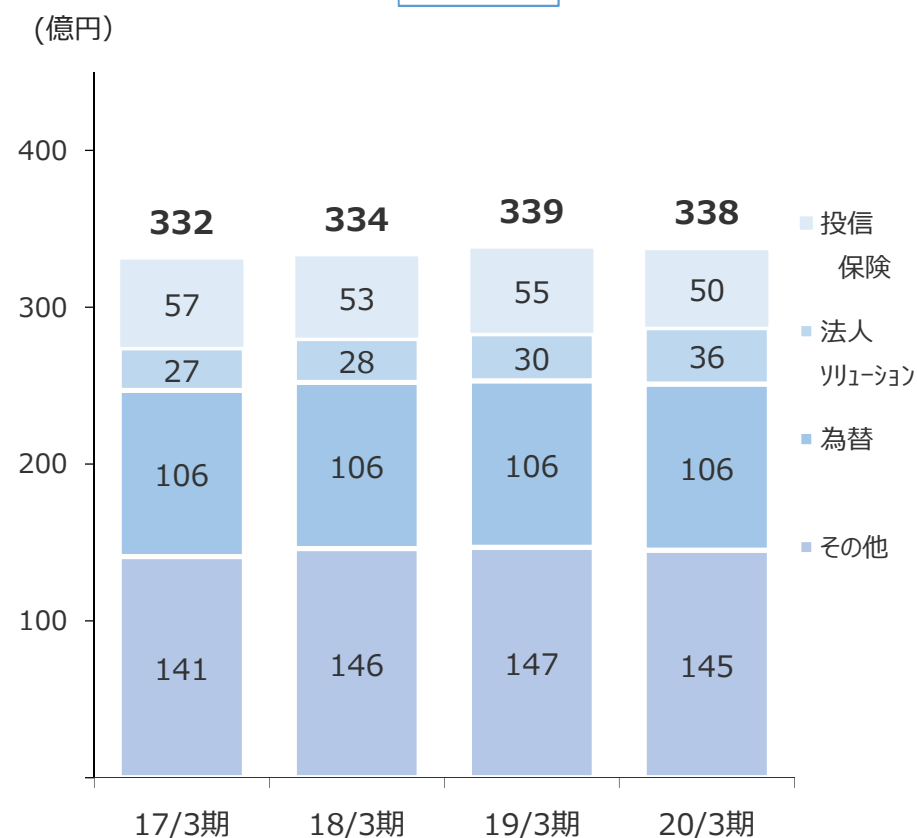
非金利収入

2行合算

	20/3期	増減額	19/3期
(1) 役務取引等利益	165	△ 0	165
役務取引等収益	338	△ 0	339
うち受入為替手数料	106	0	106
うち投信・保険手数料	50	△ 5	55
うち法人ソリューション（※）	36	6	30
私募債・シンジケートローン	21	4	17
M&A、事業承継、その他コンサル	10	1	8
ビジネスマッチング	5	0	4
役務取引等費用（△）	173	△ 0	173
うち支払為替手数料（△）	18	△ 0	18
うちローン保険料・保証料（△）	123	4	119
(2) 特定取引利益	1	0	0
(3) その他業務利益（除く5勘定戻）	11	1	9
うち外為売買損益	11	1	9
(4) 非金利収入計（1） + （2） + （3）	178	2	175
(5) コア業務粗利益	1,232	△ 24	1,257
(6) 非金利収入比率（4） / （5）（％）	14.46	0.47	13.99

役務取引等収益

2行合算

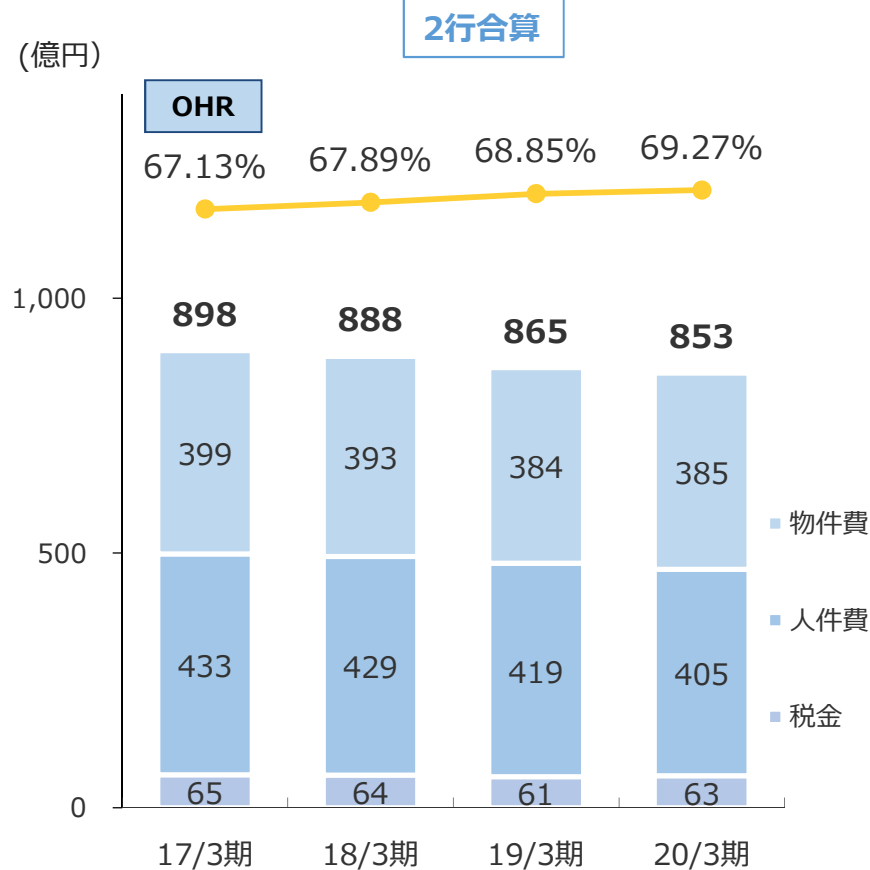


※法人ソリューション…私募債、シンジケートローン、コンサル（M&A、事業承継など）、ビジネスマッチングに関する手数料

経費

経費は、業務の効率化・集中化、互換性の向上等の取組みを通じ、人件費が減少し、前期比11億円減少の853億円となりました。

経費・OHR



北陸銀行・北海道銀行

(億円)

北陸銀行	20/3期	増減額	19/3期
人件費	226	△ 9	235
物件費	197	1	196
機械化関連費用	75	0	74
税金	33	0	32
経費	457	△ 7	464

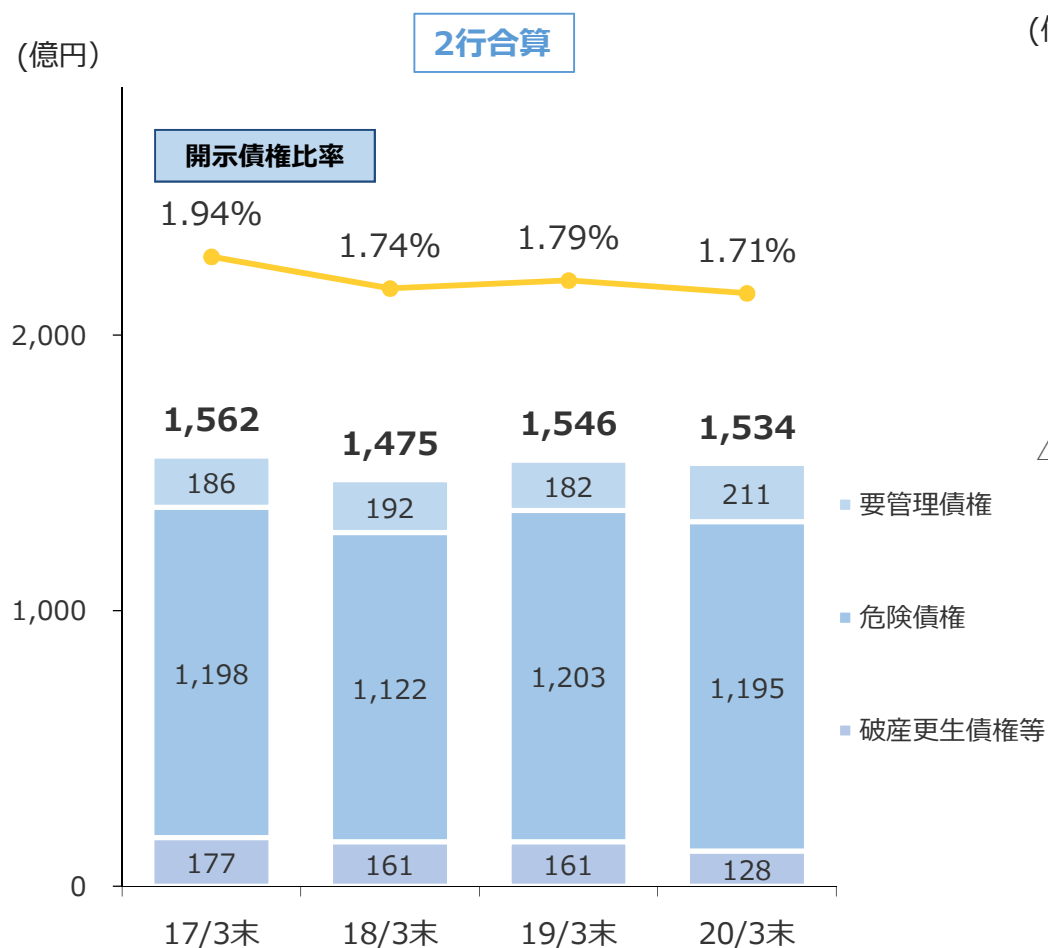
(億円)

北海道銀行	20/3期	増減額	19/3期
人件費	178	△ 4	183
物件費	187	△ 0	188
機械化関連費用	65	2	63
税金	30	1	29
経費	396	△ 4	401

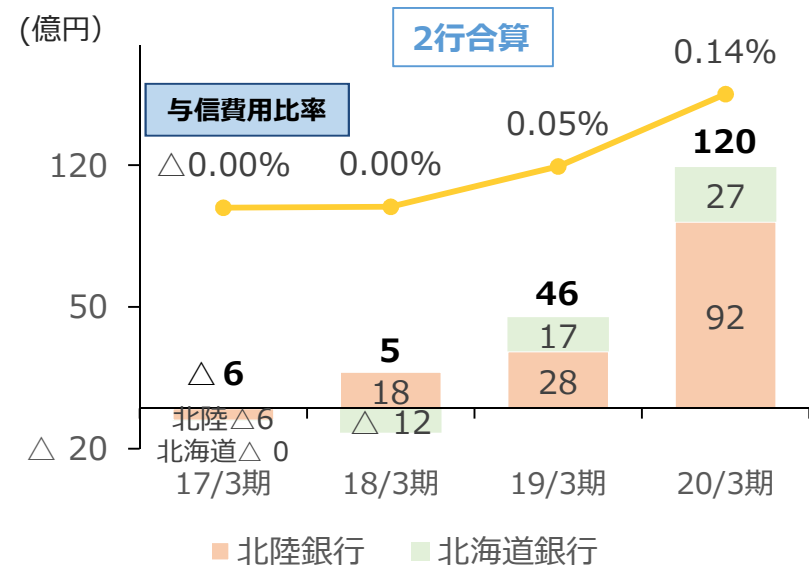
金融再生法開示債権・与信費用

- ・金融再生法開示債権は、前期比12億円減少の1,534億円となりました。
- ・与信費用は、前期比74億円増加の120億円となりました。

金融再生法開示債権



与信費用



与信費用要因

2行合算 (億円)

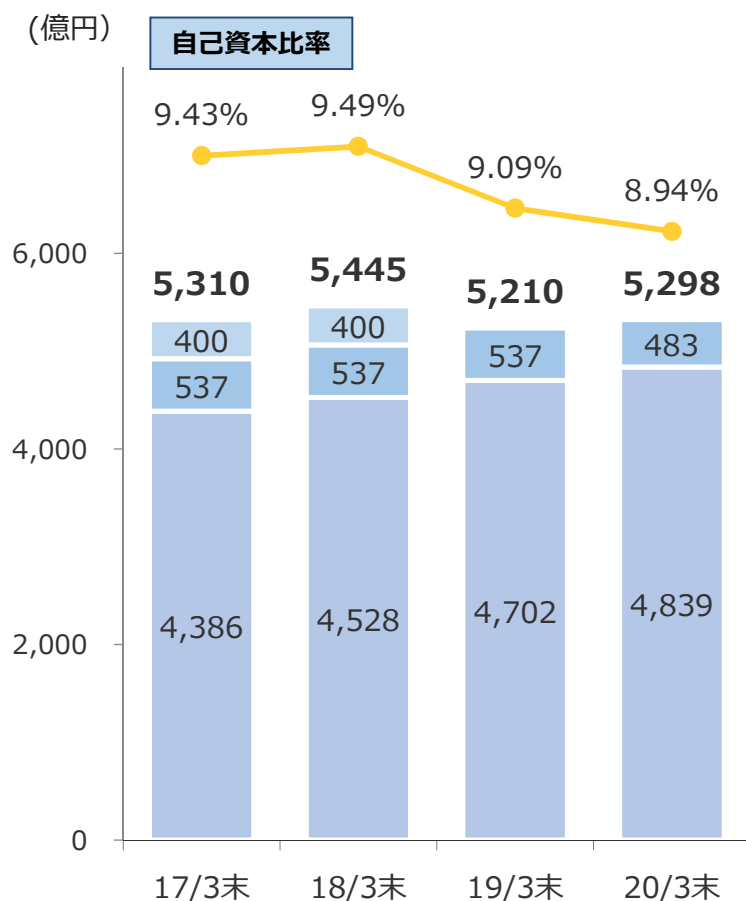
	20/3期	増減額	19/3期
与信費用	120	74	46
一般貸倒引当金繰入	28	28	△0
不良債権処理額	92	45	46
うち一般貸倒引当金戻入	-	-	-
うち個別貸倒引当金繰入	87	42	44

自己資本比率・ROE

自己資本比率は、2019年10月に第1回第5種優先株式537億円の10%を一部償還したことや、リスクアセットの増加により、前期比0.15ポイント低下の8.94%となりました。

連結自己資本比率

FG連結



自己資本・リスクアセット

FG連結

<パーゼルⅢ国内基準>

(億円)

	経過措置適用			完全実施(試算)		
	20/3末	増減額	19/3末	20/3末	増減額	19/3末
自己資本	5,298	87	5,210	4,774	149	4,625
基礎項目	5,447	52	5,395	4,923	123	4,809
調整項目 (△)	148	△ 35	184	148	△ 35	184
リスクアセット	59,232	1,940	57,291	59,098	1,943	57,155
自己資本比率	8.94%	△ 0.15%	9.09%	8.07%	△ 0.02%	8.09%

ROE

	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3
連結	5.9%	5.5%	5.3%	5.1%	3.6%	4.0%	3.4%
2行合算	6.4%	5.9%	5.9%	5.7%	4.4%	4.9%	3.9%

業績予想

2021年3月期 通期業績予想

FG連結

(億円)

	21/3期 業績予想	前年比
経常利益	260	△ 56
当期純利益 (※)	165	△ 37

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益

(億円)

	【2行合算】		【北陸銀行】		【北海道銀行】	
	21/3期 予想	前年比	21/3期 予想	前年比	21/3期 予想	前年比
コア業務粗利益	1,210	△ 22	645	△ 23	565	1
経費 (△)	855	1	455	△ 2	400	3
コア業務純益	355	△ 23	190	△ 21	165	△ 2
与信費用 (△)	120	0	70	△ 22	50	22
経常利益	270	△ 44	155	△ 22	115	△ 22
当期純利益	180	△ 28	100	△ 12	80	△ 15

2021年3月期 配当予想

	中間配当	期末配当	年間予想
普通株式	—	35円00銭	35円00銭
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭

(参考) 配当推移

(円)

11/3～13/3 期	14/3 期	15/3～16/3 期	17/3～19/3 期	20/3 期	21/3 期予想
37.50	40.00	42.50	44.00	40.00	35.00

2016年10月1日を効力発生日として「普通株式10株を1株とする株式併合」を実施しています。
(上記の配当実績は過年度と比較のため「併合後の1株当たりの配当金額」としています。)

(参考) 当期純利益推移

(億円)

11/3 期	12/3 期	13/3 期	14/3 期	15/3 期	16/3 期	17/3 期	18/3 期	19/3 期	20/3 期	21/3 期予想
184	141	181	273	282	288	281	211	243	202	165

Ⅱ. 経営戦略

中期経営計画「ALL for the Region」

中期経営計画(2020/3期～2022/3期)

目指す姿

位置付け

当社グループ全役職員が、「Face to Faceのお客様に寄り添ったサービス」と、「利便性を追求したデジタル金融サービス」の両面で進化し、持続的に地域に貢献する体制構築に取り組む期間

基本方針

「地域社会発展への貢献」

「未来への進化・変革」

「グループ総合力の発揮」

共通 価値の創造

地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献することで、共通価値を創造し、地域と共に成長・発見する総合金融グループ

重点指標

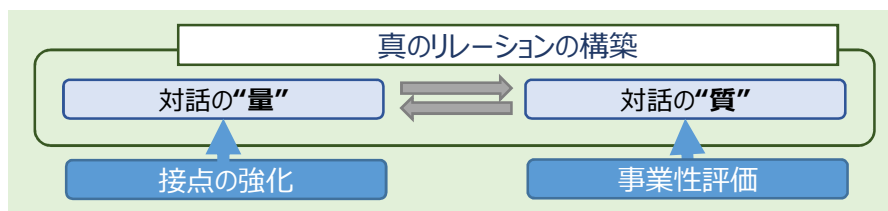
項目	2019/3期(実績)	2020/3期(実績)	前期比
本業利益 (2行合算) *	180億円	169億円	△10億円
当期純利益 (連結)	243億円	202億円	△41億円
自己資本比率 (連結)	9.09%	8.94%	△0.15%
コア業務粗利益ベースOHR (連結)	68.85%	69.27%	0.42%

*「コア業務純益－有価証券利息損益（外貨調達コスト除くネット損益）」にて算出

金融仲介機能発揮

- ・事業性評価に基づく融資の促進
- ・深度ある実態把握と経営改善支援

事業性評価に基づく融資



BCP(事業継続計画)支援

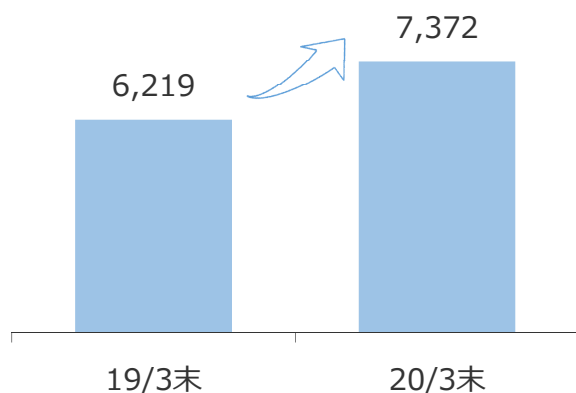
- ・「震災時元本免除特約付き融資」の取扱い
2019年度実行件数117件/9,770百万円（2行合算）
- ・災害時緊急充電スポットを設置（北陸銀行）
- ・「BCP(事業継続計画)策定支援コンサル」の実施（北海道銀行）

ESG・SDGs関連投融資

- ・本業を通じ、持続可能な社会の実現に貢献
- ・エコ私募債や寄贈型SDGs私募債等の推進

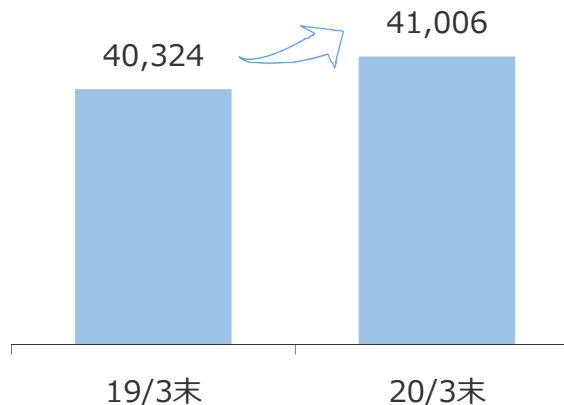
事業性評価に基づく融資先数（※1）

2行合算



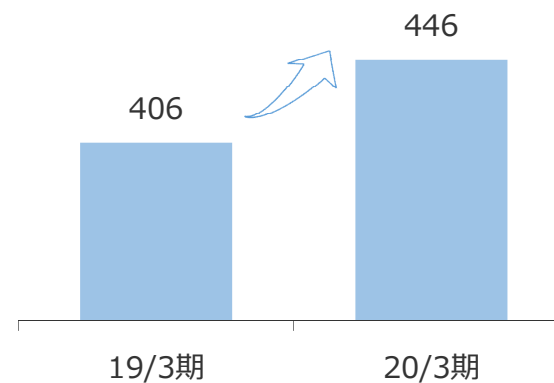
事業性貸出残高（末残・億円）

2行合算



ESG・SDGs関連投融資（※2）件数

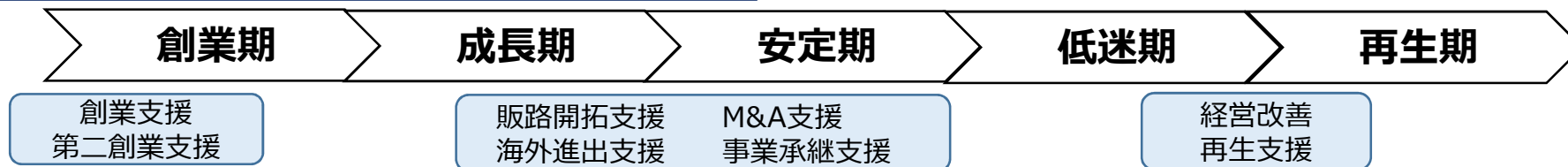
2行合算



（※1）分析シートの作成など、事業性評価の取り組みを実践している融資お取引先数

（※2）エコ私募債、寄贈型ESG私募債・寄贈型SDGs私募債・寄贈型CSR私募債、環境評価証明書関連融資等

ライフステージに応じたソリューションの提供



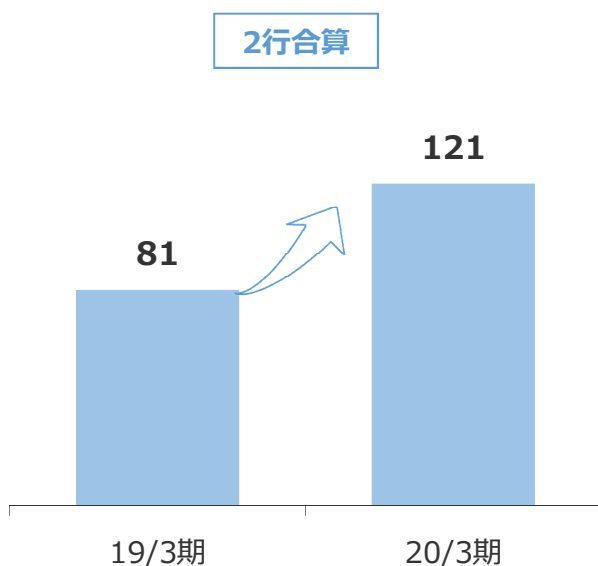
創業支援

- ・創業支援セミナーや経営セミナーを実施
 - ・公的助成申請サポート
- 2019年度ものづくり補助金採択件数
69件(2行合算)

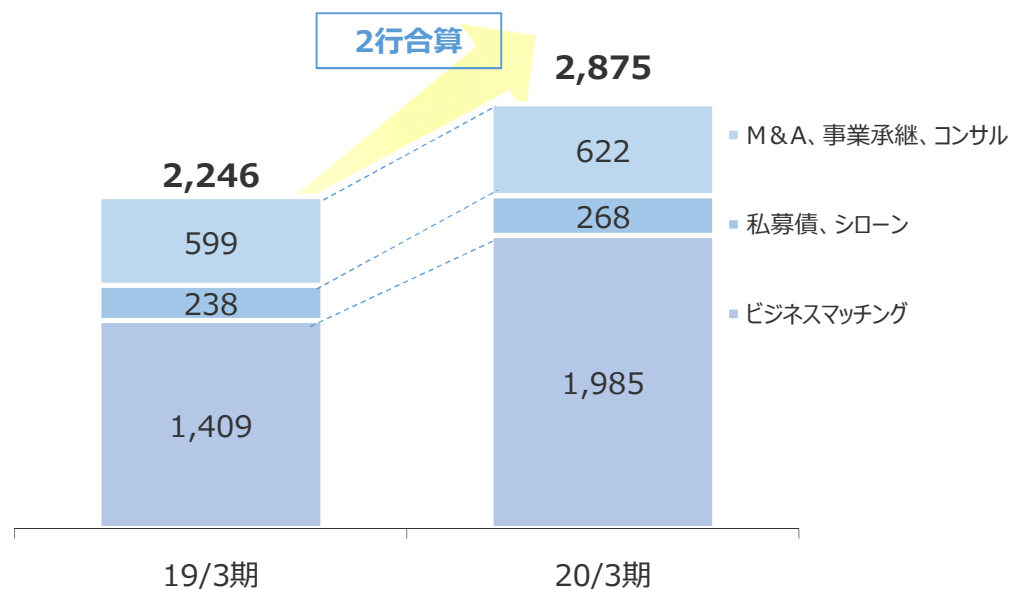
M&A・事業承継等 法人コンサルティング支援

- ・コンサルティング営業部 本部渉外人員の育成・増員
2019年度末 同部本部渉外人員 84名(2行合算 2017年度末比 +25名)
- ・M&A・事業承継セミナー開催
2019年度事業承継支援先数 101先(2行合算)

M&Aアドバイザー契約 年間締結件数



法人ソリューション成約件数



AIを活用したコンサルティングツールの充実

保険証券分析システム導入

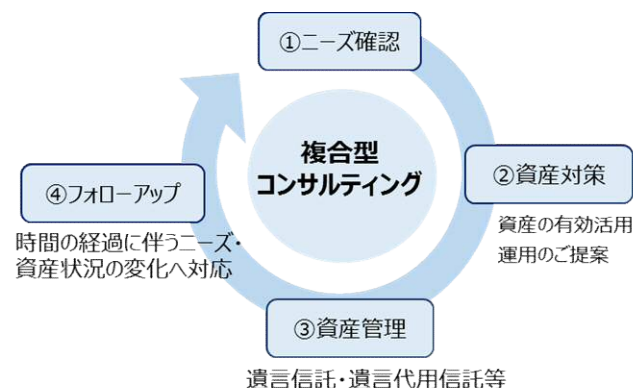
・北陸銀行、北海道銀行は共同で、AIを活用し、お客さまの保険の契約内容をよりわかり易く分析・整理、最適な提案を実践可能な「保険証券分析システム」を導入いたしました。

公的年金試算ツール導入

・北海道銀行は、お客さまの「ねんきん定期便」を撮影するだけで、公的年金受給額の簡易試算が可能となる「公的年金試算ツール」を導入いたしました。
・これにより、将来の受給額を踏まえた、資産形成プランニングをよりスピーディにご提案できるようになりました。

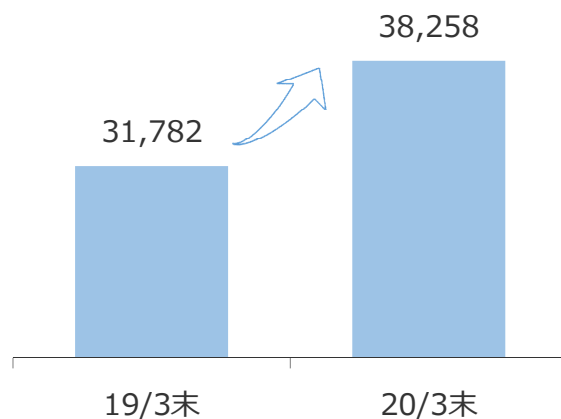
資産形成への取組み

- ・ライフスタイル・ライフステージに応じた提案の実施
- ・複合型コンサルティング提案の実施
- ・「暦年贈与型信託」の取扱開始(北陸銀行)



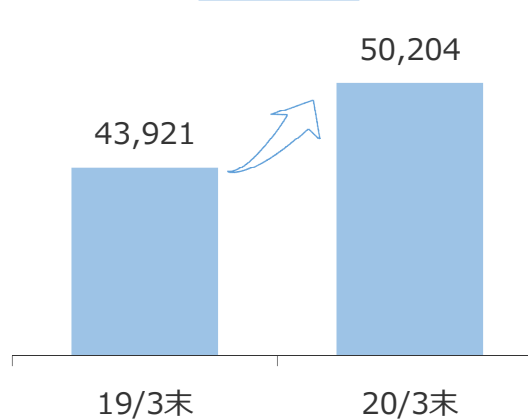
積立型投資信託 先数

2行合算



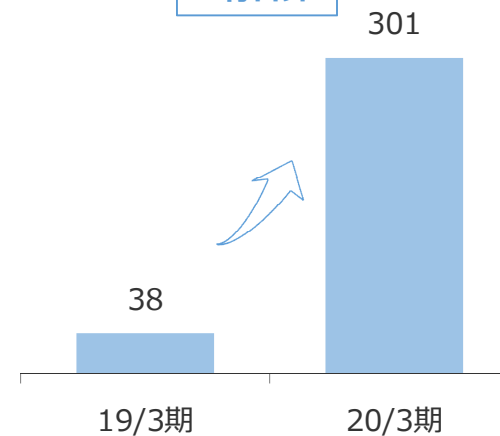
平準払保険 契約先数

2行合算



信託取扱件数（取次を含む）

2行合算

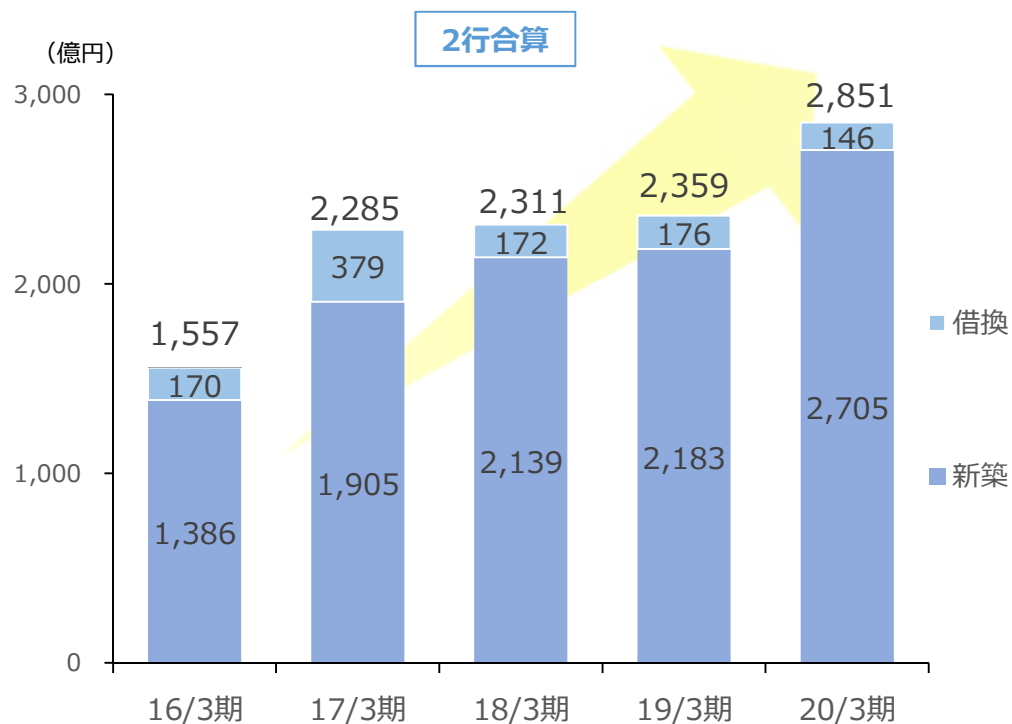


住宅ローン 商品性・利便性向上

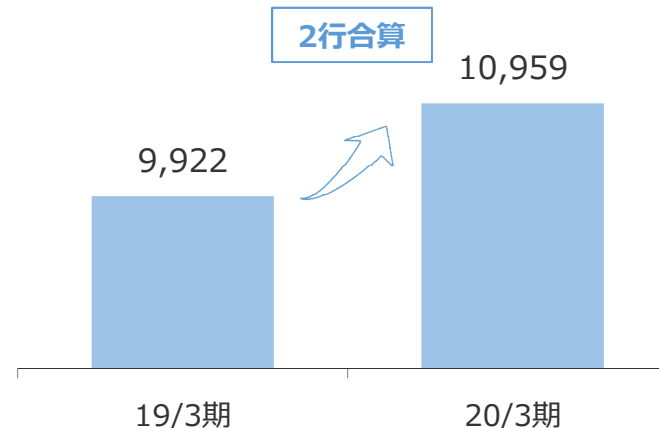
- ・住宅ローン「電子契約サービス」の取扱開始→利便性向上
- ・住宅ローン相談会の開催
- ・商品内容一部見直し
前払保証料の撤廃・中古住宅の融資年数緩和（北海道）

住宅ローン 新規実行額

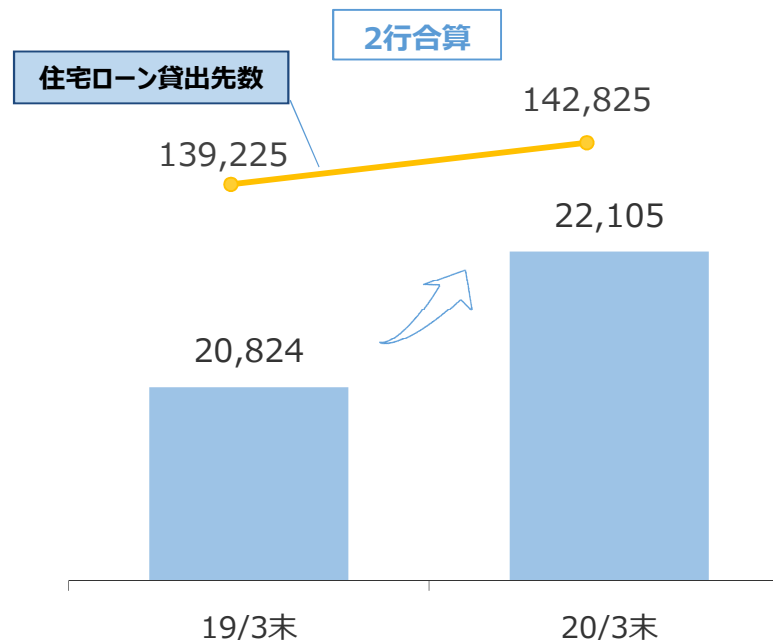
商品性・利便性向上により、単年度で過去最高額の2,851億円の新規実行が実現いたしました。



住宅ローン実行件数



住宅ローン残高(億円)



地域のキャッシュレス化の推進

・地域のキャッシュレス化推進に向けて、スマホ決済サービス「ほくほくPay」「StarPay」などの取り扱いを開始するとともに、QRコード決済サービスの取次業務や他の決済サービスとの提携など実施いたしました。

2019年度主な取組事項

- ・2019年 7月 「StarPay」の契約取次業務開始
- ・2019年11月 「ほくほくPay」サービス開始
- ・2020年 3月 JCBと提携したコード決済の取扱いを開始
- ・2020年 4月 「ほくほくPay」と「TOYOTA Wallet」との連携

他の決済サービスとの提携により、さらに利便性向上



ほくほくPay



ほくほくPay



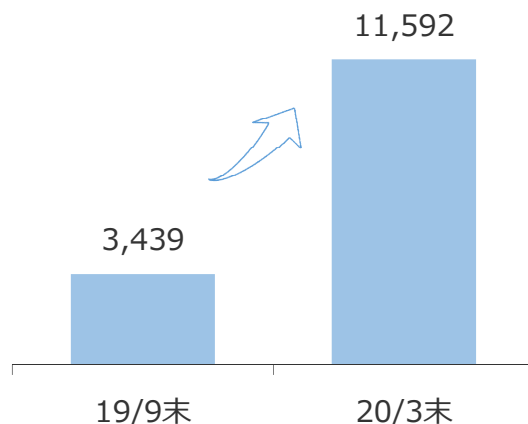
TOYOTA
wallet



Smart Code

キャッシュレス加盟店(※1)数

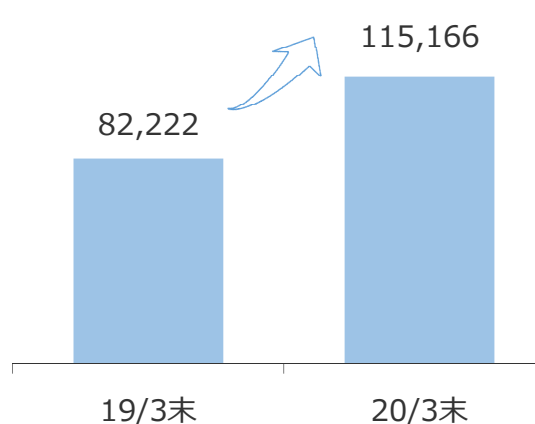
2行合算



(※1)ほくほくPay、J-Coin Payの加盟店舗数

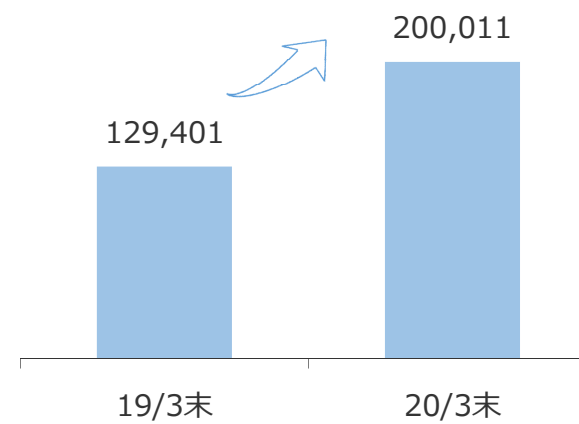
無通帳口座保有先数

2行合算



スマホアプリ利用先数(※2)

2行合算



(※2)両行のスマホアプリをインストールかつログイン
いただいているお客さまの先数

持続可能な地域社会の実現

- ・ESG・SDGs課題の解決に貢献する投融資の推進
- ・公的助成申請サポートによる創業等の支援
- ・販路拡大や工場進出などの事業拡大を支援
- ・海外進出支援や現地におけるビジネス展開を支援
- ・自治体を含む各種団体との連携強化
- ・BCP(事業継続計画)をサポート

すべてのお客さまにとっての利便性向上

- ・タブレット端末による金融商品の申込受付
- ・住宅ローンの電子契約サービスの開始
- ・インターネットバンキング、各種アプリの提供による非対面取引での利便性向上
- ・各種キャッシュレス決済サービスの開始

環境問題に向けた取り組み

- ・環境問題の解決に貢献するため「グリーンボンド」を購入(北陸銀行)
- ・ペーパーレス化の推進
- ・植樹活動に参加(北陸銀行)
- ・環境に配慮した店舗設備等の設置、エコカーの導入



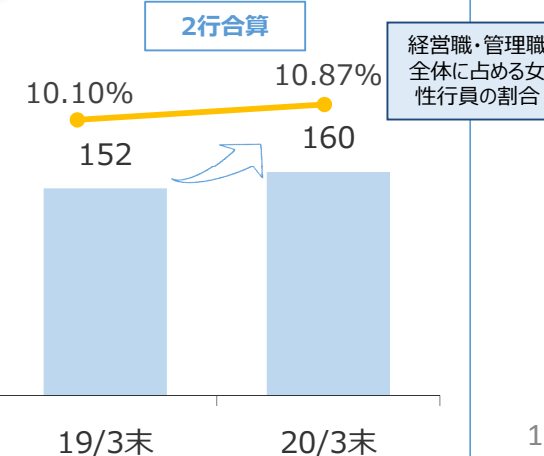
生産性向上に繋がる職場づくり



- ・「健康経営優良法人2020大規模法人部門(ホワイト500)」の認定
- ・ダイバーシティの推進
- ・RPAで業務改革を推進



女性経営職・管理職数



地域における金融リテラシーの向上



- ・積立投信やNISA、iDeCo推進による資産形成支援
- ・金融経済授業の実施、「親子で銀行体験」など体験型教育機会の提供
- ・エコノミクス甲子園の開催

地域社会の課題

少子高齢化
人口減少
都市部一極集中

	北陸銀行	北海道銀行
「出前授業」「資産形成セミナー」等 金融経済授業・セミナー 受講者数	9,459名	2,808名

地域社会活性化 ～ESG/SDGsへの取り組み～



持続可能な地域社会の実現

PPP事業を通じたSDGs推進支援（北陸銀行）

プロジェクトファイナンスを組成

北陸銀行は、日本政策投資銀行と連携し、富山市のPPP（※）事業「本庁舎北側公有地活用事業」を受託するために設立された株式会社PPP新桜に対するプロジェクトファイナンスを組成いたしました。富山市のコンパクトなまちづくりを、地域企業の資金・ノウハウを活用して実現する事業に対するファイナンスであり、地域経済活性化に資する取り組みとなっております。今後も金融仲介機能の発揮を通じ、地域経済活性化に貢献してまいります。



官民連携による空き家対策をコーディネート（北海道銀行）

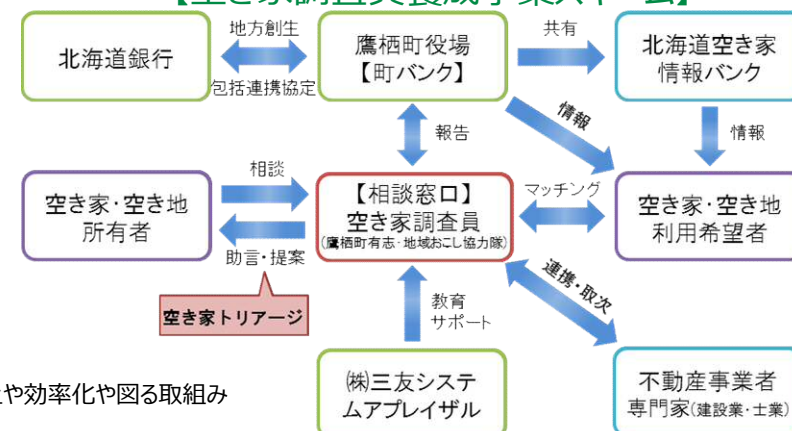
鷹栖町と株式会社三友システムアプレイザルが『空き家対策に関する連携協定』を締結

2019年9月、北海道銀行のコーディネートにより、鷹栖町と株式会社三友システムアプレイザルが、『空き家対策に関する連携協定』を締結しました。

空き家の有効活用や解消等を図ることを目指し、空き家に関する相談にワンストップで対応できる空き家調査員を養成し、地域の空き家・空き地を発生させないことを目指していきます。

今後も官民連携の推進に向けたサポートを行ってまいります。

【空き家調査員養成事業スキーム】



※）Public Private Partnership ～ 官民連携。民間の資本やノウハウを活用し、公共サービスの向上や効率化を図る取り組み

地域社会活性化 ～ESG/SDGsへの取り組み～

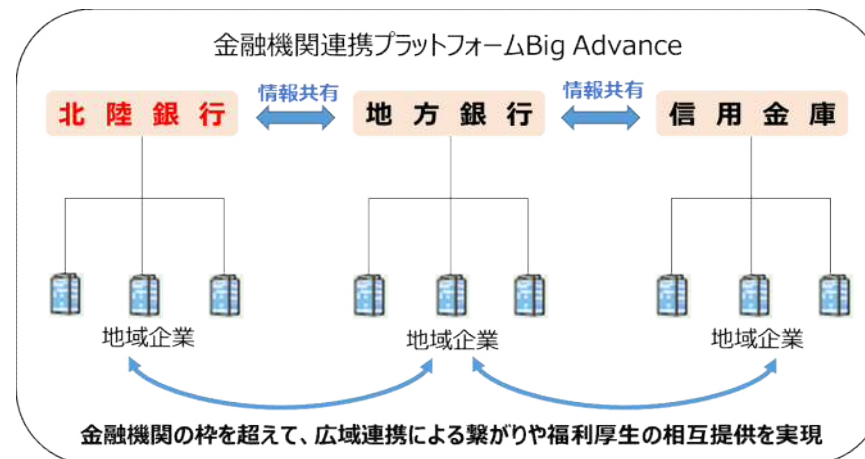


持続可能な地域社会の実現

Hokuriku Big Advance（北陸銀行）

経営支援プラットフォームの運用開始（2019年11月）

お客さまご自身がインターネット上のサイトにアクセスしてご利用いただく経営支援プラットフォーム「Hokuriku Big Advance」の運営を開始いたしました。



このプラットフォームには、400社を超える大手企業や金融機関が参加しております。販路拡大・人材確保・業務効率化・事業承継など地域企業が抱える様々な経営課題にワンストップで応えることが可能であり、新たな技術やサービス、未来の新規事業創出の実現を支援いたします。

6次産業化支援による地域活性化（北海道銀行）

「合同会社OMEGAファーマーズ」の搾油事業開始

北海道銀行が直接出資、代表社員を派遣し、若手農業者の育成、耕作放棄地の活用といった北海道農業の課題解決に貢献することを目的として設立された「合同会社OMEGAファーマーズ」の食用油製造工場（士別市、廃校となった小学校の施設を活用）が、2020年3月に操業を開始いたしました。

引き続き、販売を含めた6次産業化を支援してまいります。



生産

加工

販売

観光関連産業への支援に貢献（北海道銀行）

インバウンドプロダクツ2019

北海道の観光資源を利用し「稼ぐ観光」を確立することを目的とした商談会を開催いたしました。

本商談会は、訪日外国人客向けの商品開発・サービスを提供している事業者と、北海道の観光関連事業者向けの商談会であり、2019年で3回目の開催となりました。



店舗の利便性向上・効率化

- ・お客さまのニーズに沿った店舗運営
- ・店舗内店舗形式による移転統合、店舗営業時間の弾力化

お客さまの利便性向上に向けた拠点開設

- ・北陸銀行は、富山地区最大級の商業施設「フューチャーシティアポーレ」に出張所をオープンいたしました。
- ・平日の夜間や休日にもお客さまのライフステージに合わせた資産運用・相続のご相談、各種諸届のお手続きが可能となりました。

- ・北海道銀行は、地下鉄大通駅に「口座開設プラザ」を開設し、平日15時以降や土日祝日の時間帯における口座開設を可能とすることで、お客さまの利便性向上に取り組んでいます。



店舗数推移

店舗数(2行合算)	2016/3末	2017/3末	2018/3末	2019/3末	2020/3末
国内店舗数 (A)	329	328	329	330	332
店舗内店舗等 (B)	25	31	37	42	48
実質店舗数 (A-B)	304	297	292	288	284
営業時間弾力化 (昼休み等)の実施店舗数	0	0	7	28	42

業務効率化・生産性向上

- ・RPAによる業務効率化促進
- ・ダイバーシティの推進

RPAによる業務効率化促進

- ・RPA(Robotic Process Automation)対象業務の拡大をすすめ、事務の削減に取り組んでいます。捻出した時間・人員は、渉外力強化にも振り向けています。

単純作業はRPAに

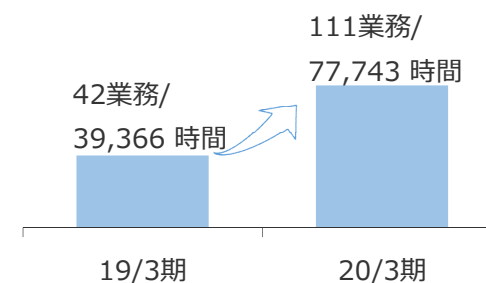


渉外人員の増強 コンサル業務等へ注力



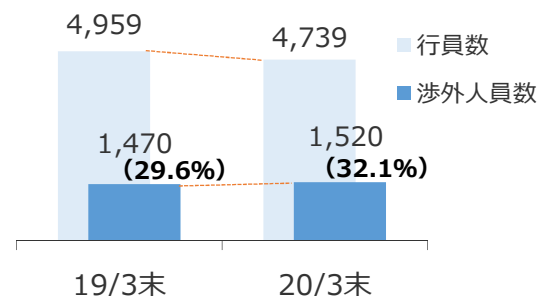
RPAを活用した業務削減

2行合算・累計



渉外人員数

2行合算



(※)法人・個人の渉外担当者数

機能的な組織体制の構築

本部組織改編

2019年度

- ・FG企画グループと両行経営企画部、FGリスク管理グループと両行統合リスク管理部、コンプライアンス統括部を一体で運営する新体制に移行
- ・全部署・委員会の名称・役割を統一



2020年度

- ・両行総合事務部・システム統括部を一体運営する新体制に移行予定



北海道地区における連携強化

【本部】

- ・道内バックオフィス業務の集約
- ・道内営業・店舗戦略のシナジー追及

【営業店】

- ・道内営業店間の連携強化を目的とした「ほくほく連携会議」を各地で開催



意思決定の迅速化
業務の一体運営

事務・システムの統一
商品・サービスの高度化
投資の最適化

FG共同企画
機能共同活用の促進

シナジーの追求による
コスト削減

総合金融サービス提供
による収益力強化

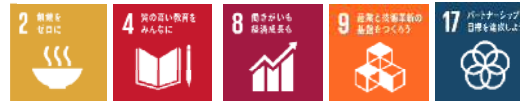
ビジネスマッチングシステムの統一化

道銀ビジネスマッチングシステム導入

- ・2020年4月1日、北海道銀行は、北陸銀行がリンカーズ株式会社と共同開発したビジネスマッチングシステムを導入
- ・お客さまの様々なビジネスマッチングニーズに対し、従来以上にスピーディなご提案が可能となるとともに、システム導入により両行間のビジネスマッチング連携加速化に繋げる



グループ総合力の発揮

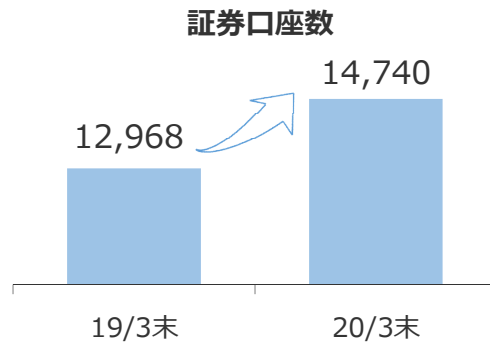


総合金融グループとしての金融サービスを提供

ほくほくTT証券

・銀証連携による総合提案

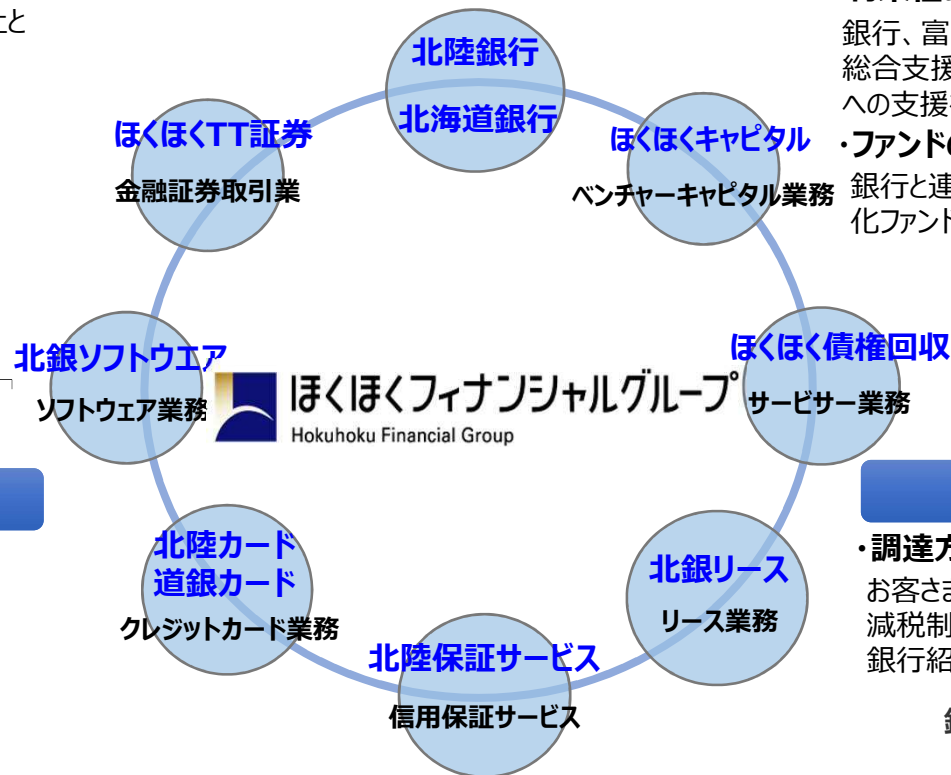
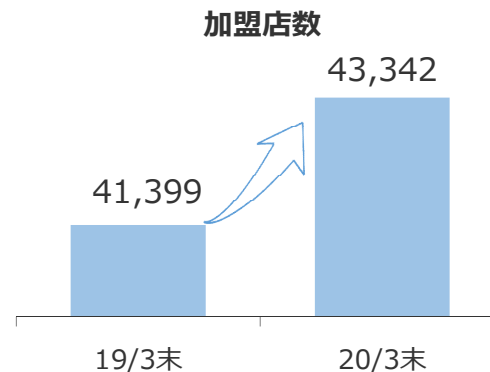
銀行より紹介を受けたお客さまへ証券会社としての総合提案の実施



北銀カード・道銀カード

・キャッシュレス化推進連携

銀行のキャッシュレス化推進と連携し、加盟店取引を拡大



ほくほくキャピタル

・将来性ある地元ベンチャー企業への投資

銀行、富山県と連携し、「元気とやま中小企業総合支援基金」を活用した地元ベンチャー企業への支援を強化

・ファンドの推進

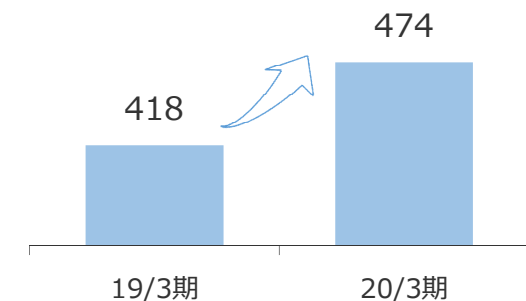
銀行と連携し、ほくほく応援ファンド、六次産業化ファンド、アグリ育成ファンドの推進を強化

北銀リース

・調達方法の最適化に向けた総合提案

お客さまの調達の幅を広げるため、補助金や減税制度等も活用した総合提案を実施
銀行紹介で年間386件の新規取引が実現

銀行からのリース取次件数



関連会社経常利益推移

	17/3期 (A)	18/3期	19/3期	20/3期 (B)	(B-A)
経常利益	30.8	27.7	19.1	32.1	1.3
うち与信費用	0.8	7.2	15.9	3.5	2.6
【参考】経常利益 (除く与信費用)	31.6	34.9	35.0	35.6	4.0

(億円)

本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ(担当:寺田・谷口)

TEL:076-423-7331

FAX:076-423-9545

E-MAIL:info@hokuhoku-fg.co.jp

<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。